



## 厚生委員会

市の福祉健康部(福祉、健康、医療)、環境生活部(生活、環境保全、ごみ)に関する事項に対応する委員会です。

◎高橋 誠 ○近藤吉一郎 岡田康弘 岡安謙典  
木下健二 齋藤弘道 松本義隆 美見みち子 山本陸夫

今期定例会において、厚生委員  
会付託の議案十五件、請願五件、  
継続審査中の請願二件について審  
査した。

まず、一般会計(第六次)補正  
予算では、家族介護用品給付費の  
減額理由は、単価の変更及び利用  
見込み違いとのこと、乳幼児医療  
費、ひとり親家庭等医療費及び老  
人医療費の県補助金の増額理由は、  
当初予算では津山市の補助率六分  
の三で予算計上していたが、合併  
した町村分は、十七年度も引き続  
き六分の五を県が補助するとのこ  
とであり、旧町村分を増額補正し  
たとのこと、また、介護保険低所  
得者対策補助金は、十月の制度改  
正で、施設入所者は、居住費・食  
費が自己負担となったことから、  
低所得者層は、補足的給付制度の  
創設により居住費負担の増加を緩  
和しているが、ユニット型特養入  
所者は特別室料を負担しており、  
低所得者層の負担増の激変緩和を

図るための補助制度が設けられた  
ための補正で、該当者は十四名を  
予定とのことであった。

この議案及び国民健康保険特別  
会計(第二次)補正予算、老人保  
健特別会計(第三次)補正予算、  
介護保険及び簡易水道事業の各特  
別会計(第二次)補正予算、「津  
山圏域衛生処理組合規約の変更に  
ついて」、「土地の取得について」  
は、全員一致で可決した。

次に、「指定管理者の指定につ  
いて」の五議案は、加茂町保健福  
祉センターの公募しなかった理由  
は、当初から一般の利用を対象と  
しないで整備したものであり、採  
算性が低く公募になじまないため  
とのこと、また、「めぐみ荘」に  
ついて、価格面で有利な業者が選  
定されなかった理由として、「健  
康の増進と交流又は介護予防」と  
いう施設の設置目的から、価格の  
ほか、共通事項、個別事項を総合  
的に評価した結果、社会福祉協議

会が候補として選定されたとのこ  
とであった。

この五議案は採決の結果、賛成  
多数で可決した。

一般会計(第七次)補正予算及  
び国民健康保険、介護保険の各特  
別会計(第三次)補正予算は、人  
事院勧告に基づくものであるが、  
特別職だけが上がつて、職員は下が  
る予算には反対との意見があり、  
採決の結果、賛成多数で可決した。

当局より、津山国際交流車いす  
駅伝競走大会と津山ふれあいマラ  
ソンが、成功裏に終了したこと、  
また、介護保険法の改正に伴い、  
市町村に設置が義務付けられる地  
域包括支援センターを、来年四月  
に市内一ヶ所に設置すべく、津山  
市社会福祉協議会に委託する方向  
で調整しているとの報告があった。  
また、委員から、介護保険のケ  
アマネ事業所について、中立・公  
正が保てる運営方策を検討しても  
らいたいとの要望があった。

◎政治家に対し、寄付を出すように勧誘や要求することは禁じられています。